

## 令和2年度事業計画

### I 運営方針

本社は、主に市営住宅の管理業務により、市勢進展と市民福祉の向上に寄与してきた。東日本大震災以降は、市の震災復興事業において、被災者への住宅提供という大きな役割を果たしている。

公益財団法人移行後は、公益法人としての財務基準の遵守と、事業環境の変化への柔軟な対応により堅実な経営基盤の確立に努めてきたが、平成30年3月には、今後の経営戦略と具体的取組をより明確にするため、「経営の基本方針」ならびに「中期経営計画2018」を策定し、これに基づく事業運営に取り組んできた。

令和2年度は、市営住宅管理業務の指定管理期間が、年度末で終了することを契機に、当公社の事業全体について、仙台市との連携をより一層強化し、業務のさらなる質の向上を図り、公益財団法人としての信頼を高められるよう努力する。

市営住宅管理業務については、現行業務を確実に遂行するとともに、施設の老朽化や入居者ニーズなど取り巻く環境の変化への仙台市の対応に積極的に協力する。さらにこれまで行ってきた仕様書や事業計画書に基づく業務実施状況の検証を踏まえ、仙台市に対してより具体的な業務改善の提案を行うなど密に情報交換を行い、次期においても指定管理業務を継続し、より良い管理を行うことを目指す。

交通安全事業については、「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の施行を踏まえ、公社ならではの特徴を活かし、役割を明確にし、事業展開が図れるよう、市と協議を継続する。

公益目的事業の自主事業であるコミュニティ事業においては、地域活動助成事業を継続するとともに事業計画を立案し、試行を開始した安全安心見守り事業の本格実施を目指す。また、新たな市民サービス・まちづくり支援事業の創出についても引き続き検討を行う。

収益事業については、駐輪場・駐車場等の施設管理業務を確実に遂行し、自主事業の財源となることも踏まえ、業務内容の見直しの検討を継続し、収益向上を図る。

「中期経営計画2018」の推進については、組織横断的なプロジェクトチーム「検討部会」において市民サービスやまちづくり支援事業の今後の枠組みや、収益向上に加え、職員自らの業務改善提案の検討を行うとともに、PDCAサイクルによる全体の進捗管理をモニタリング委員会（課長会）において行っていくなど、ガバナンス強化、モチベーション向上のための組織運営体制を令和2年度も継続する。

令和元年度において、本公社の今後の業務展開と、国の働き方改革への対応の両面から、仙台市の指導も仰ぎながら、中長期の職員構成について検討を行った。その結果を受け、採用・配置等職員の管理をより計画的に行う。組織運営のレベルアップとサービスの質と信頼性向上に向けて、BCP訓練の実施、コミュニケーション能力向上研修などを引き続き実施するとともに、事務処理手順書を絶え間なく見直すなどミス防止にも努め、職員の業務遂行能力の向上を目指す。

以上、新たに採用することになる「事業職員」も含め、組織・職員一丸となり積極的に事業に取り組んでいく。

## II 令和2年度事業計画

### 1 事業の実施方針

#### ●市営住宅等入居者の快適な生活環境の支援

指定管理業務を着実に実施することに加えて、見守り活動の実施や自治会等が行う地域活動への支援を通じて市営住宅入居者が快適に安心して暮らせる生活環境づくりを支援する。

#### ●人と自転車が共存する快適な交通環境の創出支援

仙台市営駐輪場の総括管理及びJR駅周辺等駐輪場の運営管理を行うほか、自転車利用者のルール周知やマナー向上の啓発事業を実施し、快適な交通環境の創出に向けた支援を行う。

#### ●市有地の有効活用による市民の身近な暮らしの利便性向上

遊休市有地を活用した駐車場事業を実施し、市民の暮らしの利便性向上に寄与する。

#### ●人材育成と組織の活性化

より質の高いサービスの提供と公社としての付加価値の創出ができるよう、職員の意識改革及び能力の向上に努め、組織の活性化を図る。

### (1) 公益目的事業 <予算額 722,827千円>

#### ア **公1事業** 「地域居住環境及び快適な生活環境の増進に資する事業」 <予算額 719,119千円>

市営住宅等の指定管理業務を適切に行うことにより、被災者や住宅に困窮している方々が安心して暮らせる環境づくりを推進する。また、見守り活動や地域活動支援など自主事業を実施し、高齢者福祉の増進や地域コミュニティの推進に寄与する。

##### ① 市営住宅等管理 <予算額 715,899千円>

市営住宅等 11,990戸及び各共同施設の募集、収納、緊急修繕、相談等の管理業務を行う。  
住宅内訳：市営住宅（9,096戸）、復興公営住宅（2,869戸）、仙台駅東再開発住宅（25戸）

##### ② コミュニティ事業 <予算額 3,220千円>

市営住宅入居者の安全・安心で暮らしやすい環境を形成するため、単身高齢者を対象に訪問し、救急医療情報キットを配付確認するとともに見守り活動を行うほか、環境美化活動や交流イベント等を行う自治会等の地域活動団体への支援を行う。

#### イ **公2事業** 「交通環境の向上による快適な生活環境の増進に資する事業」 <予算額 3,100千円>

自転車利用者のルール周知やマナーの向上を図るため、交通安全教育副読本の配付や啓発活動等を実施する。

#### ウ **公3事業** 「先行的視点から行うまちづくりの促進に資する事業」 <予算額 608千円>

七郷中学校の適正な資産管理を実施する。

## (2) 収益事業

### ア 収1事業「都市関連施設の運営管理事業」〈予算額 367,978千円〉

仙台市より受託している駐輪場の運営管理や住宅管理を行う。また、公共用地等を活用した駐車場の運営を行う。

#### ① 駐輪場運営（市営駐輪場の総括管理・運営管理等）〈予算額 114,445千円〉

仙台市営駐輪場（61箇所）の総括管理及びJR駅周辺等駐輪場（8箇所）の運営管理を行う。

#### ② 駐車場運営 〈予算額 61,048千円〉

市有地借用の月極駐車場（29箇所）の運営を行う。

#### ③ 新田住宅管理 〈予算額 4,882千円〉

青葉山公園整備事業の移転先である住宅及び共同施設の管理業務を行う。

#### ④ 市営住宅風呂設備設置〈予算額 187,603千円〉

市営住宅入居15年以上で、入居者が設置した風呂設備を交換等する業務を行う。